

## 令和2年度 自己評価公表シート

第一・第二さくら幼稚園

## 1、園の教育目標

さくら幼稚園は学校教育法による幼稚園として幼児教育をしっかりと貫いていく。

大切なことは、教師のすぐれた資質と日々の研究意欲と情熱であり

それが、特色あるさくら幼稚園の教育方針を育てている。

本園ではめざす幼児像として以下の項目を掲げる。

- ・何ごとにも一生懸命取り組む子に育てたい。
- ・もの事に良し悪しがあることを少しずつ気づかせてあげたい。
- ・教師の話や人の話をしっかりと聞く子になってほしい。
- “はい” “ごめんなさい” “ありがとうございます”が素直にいえる子どもになってほしい。
- ・大自然や友だちとのかかわりの中に、驚きや感動がたくさんあり、こんな体験を1つでも多くしてほしい。

## 2、本年度、重点的に取り組む具体的な目標や計画

H21年12月から教員個々のチェックシートによる自己評価を開始。H22年3月に学校関係者評価委員による学校評価を実施後、自己評価項目一覧アンケートの適用を定期的に行い、結果を理事会に報告することが定着してきた。本年度は自己評価チェックリストを当園の教育方針に適した内容となるように見直しをし、自己評価を保育の振り返りとする。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、保育活動が自粛となるなど、コロナ禍の不安な日々の中、子ども達や保護者のかたにも安心を持って登園してもらえるよう計画した。

## 3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
自己評価項目一覧アンケート	H27年度 第一 94.8%、第二 93.2% H28年度 第一 97.9%、第二 92.7% H29年度 第一 95.7%、第二 96.1% H30年度 第一 80.6%、第二 88.3% R元年度 第一 95.2%、第二 88.5%
新型コロナウイルス感染症予防対策に努める	例年とは異なる保育や行事の進め方を教職員間で何度も話し合い、試行錯誤しながら、コロナ禍の中でも子ども達やご家族の心に残る園生活を送れるよう取り組みました。保育活動の自粛中には、動画撮影をし、園の「連絡アプリ」を使って子どもたちや保護者とつながりを持つようにしました。結果、登園再開後も子ども達が抵抗なく登園する元気な姿を見ることができました。

## 資料①

### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

自己評価を行うことで保育を振り返り、自分の課題を見出すことで、反省点や改善点を考え工夫して保育に取り組めるようになってきた。また日々の職員間の話し合いの中で、それぞれの保育を振り返ることで、自信になる事や、努力すべきことも見え、個々の保育に対する意欲の向上に繋がっている。

本年度は、保育計画に沿って準備を進めたカリキュラムを大幅に見直すこととなりましたが、子どもたちのことをもう一度問い直すよい機会ともなりました。教職員間の話し合いの中で、新しい見方での意見や提案ができるようになり教職員の取組みがより主体的に育ってきました。定期的に動画配信 (YouTube) も続け、保護者からも温かいお言葉をいただき、教職員の励みとなっています。

今後も、コロナ禍の生活をしっかりと身につけ日々の保育に取り組んでいきたいと思っております。

### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
情報公開の方法	園だよりや参観日などを通して保護者への周知徹底に取り組み、さらに一般の方が利用しやすいホームページ等の活用を継続していく。
教育目標と連鎖した評価項目を作成 計画・実施・反省・対応 (PDCA) のサイクルを確立する。	全私幼幼児教育研究機構提供の自己評価項目一覧 (教職員編) を参考として当園に適するように見直しを継続していく。

### 6、学校関係者評価委員会の意見

- ・コロナ禍の中、園児や保護者の方が不安にならないよう、行事や保育を工夫されながら考えられていて皆さん頑張っていたと思います。
- ・例年とは違う形での行事を行われ、大変だったかと思いますが、皆さんの思い出に残るよう取り組まれていて素晴らしいです。コロナ禍はまだ続くようですが、これからも頑張ってください。
- ・園児さんに動画配信された映像を見させていただきました。今迄になかった取組みで大変だったように思いますが、先生たちの思いがよく伝わりました。
- ・園舎の工事をされながらになりますので、事故のないようにご注意ください。

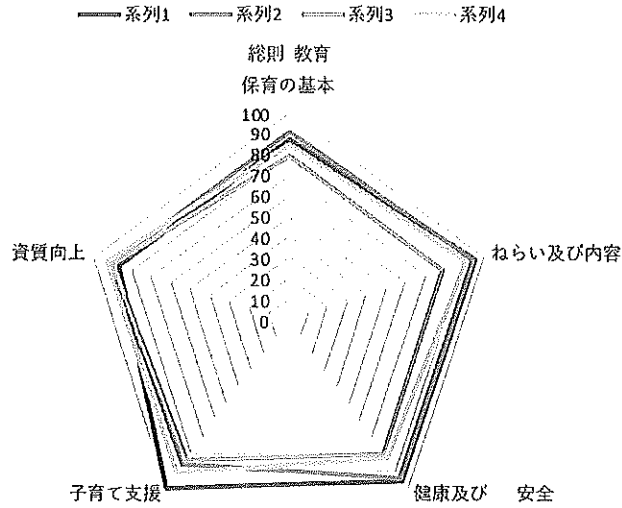
### 7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

令和元年度 自己評価チェックリスト集計結果

第一さくら幼稚園

グラフ タイトル



第二さくら幼稚園

グラフ タイトル

